

「学生のための、学生を成長させる「学修成果の見える化」とは」

— 学生の主体的な学びの確立をめざして —

全体プログラム

日時：平成27(2015)年2月21日（土）・22日（日）

会場：東急ベイホテル横浜（横浜市西区みなとみらい2-3-7）



	時間	内容	会場
1日目 2月21日（土）	13:00～13:30	1日目参加受付	B2階 クイーンズグラウンドホールルームC
	13:30～17:00	シンポジウム・ディスカッション	B2階 クイーンズグラウンドホールルームC
	17:20～19:00	情報交換会	※当日ご案内いたします。
2日目 2月22日（日）	9:00～9:20	2日目参加受付	B2階 クイーンズグラウンドホールルームD
	9:20～12:00	分科会	B2階 アンバサダーズホールルームSほか
	12:00～12:30	全体会	B2階 クイーンズグラウンドホールルームD

本フォーラムについて

横浜国立大学は、平成26(2014)年度公募の大学教育再生加速プログラム（AP）テーマⅡ「学修成果の可視化」の採択を受けました。学修成果の可視化においては、各種データを用いて学修成果の可視化を行い、その結果を基にして教育内容、方法等の改善を行うことによって学生の主体的な学びのデザインに繋げることが重要であると考えられます。学生の学習意欲や学力などが多様化している今、学生の主体的な学びの確立に繋げるアクションを展開するためには、大学の主人公であり学習者である学生の声や意見を踏まえることが重要です。

そこで、本フォーラムにおいては、学生が予測困難な社会を生き抜き活躍していくために、学生の主体的な学びの確立をめざして、「学生のための、学生を成長させる「学修成果の見える化」とは」をテーマとしました。教職員だけでなく、学生の声、思いも踏まえて、根本論として「大学における主体的な学び」とは何なのかを考え、主体的な学びの確立に向けて、学生を成長させるための「学修成果の見える化」について検討します。興味、関心のある教職員、学生の方々の参加をお待ちしております。

【1日目（2月21日）】シンポジウム・ディスカッション

「学生の主体的な学びと、学修成果としての成績評価を考える」

総合司会：曾根 健吾（横浜国立大学 大学教育総合センター研究員）

○ 趣旨説明 上野 誠也（横浜国立大学 大学教育総合センターFD推進部門長・大学院環境情報研究院教授）

① 基調講演

「学生の主体的な学びについて考える — 学生が「学修」する仕掛け —

橋本 勝 氏（富山大学 大学教育支援センター教授）

② 学生からの意見表明

「学生からみた主体的な学び — 私たちを主体的な学修へ導く条件とは —

山口大学学生、明星大学学生

③ 話題提供

「教員と学生の共通理解を促すために — ルーブリックによる評価基準の可視化を通して —

井上 史子 氏（帝京大学 高等教育開発センター教授）

④ 学生からの意見表明

「学生が考える、学生が成長し主体的な学びに繋がる成績評価とは」

横浜国立大学学生、東洋大学学生、岐阜大学学生

⑤ 質疑応答・ディスカッション（※ディスカッションは、プログラム途中でも行います。）



17:20～19:00
情報交換会

ふるってご参加下さい！
AP採択校の取り組み紹介
パネルの展示等を予定して
います。

【2日目（2月22日）】分科会



分科会は、教職員（座長）、学生からのミニ話題提供と学生・教職員合同グループワークもしくはディスカッションを基本的な流れとする予定です。

なお、分科会の希望は参加申し込み時いずれかの1つをお申し込みいただけます。各分科会とも定員がございますのでお早めにお申し込み下さい。

分科会1「学習者の目線に立った成績評価とシラバスとは」

座長：榊原 暢久 氏（芝浦工業大学工学部教授，教育イノベーション推進センターFD・SD推進部門長）

分科会1では、1日目のシンポジウムテーマである学修成果としての成績評価について、学生の視点をふまえてさらに掘り下げて検討します。

近年は、ルーブリックを用いた評価、ポートフォリオによる評価など新たな評価方法が大学教育において注目されていますが、評価は到達目標に照らして行われるものであり、到達目標と評価方法は学生にはシラバスを通じて伝達されます。そこで本分科会では、成績評価とシラバスに焦点をあてて、学習者の目線に立ったシラバスとは何か、学生の学びを充実させ、学生の学習意欲を高める成績評価とはどのようなものかについて検討します。

分科会2「大学における主体的な学修と就業力」

座長：市村 光之（横浜国立大学大学教育総合センター講師）

平成24(2012)年の質的転換答申における「主体的な学び」という表現には、グローバル社会において活躍するために主体的に行動できる人材の育成が必要であるという、グローバル人材の必要条件が反映されていると思われます。2011年にはキャリア教育の実施が各大学において義務化されましたが、バックグラウンドの異なる多様な学生をいかに支援し、就業力を高めていくことはなかなか難しいものがあります。分科会2では、大学における学修と、就業力に焦点を当てて、グローバル化社会を生きぬき社会で活躍するための大学での学修のあり方、就業力の概念とはどのようなものか、大学での学修と就業力の関係を学生の声、視点を含めて考えます。

分科会3「学生と考える、授業評価アンケートのこれから」

座長：川上 忠重 氏（法政大学理工学部教授・教育開発支援機構FD推進センターFD推進プロジェクトリーダー）

FD活動の代表的な取り組みとして、授業評価アンケートが多くの大学で行われています。授業評価アンケートは、学生が授業についての考えを発信する数少ないツールの一つであり、アンケートのデータを効率的に活用してFD活動に活かすことは大きな課題だと言えます。しかしながら、授業評価アンケートの実効性、有効性をめぐっては疑問の声もあることが事実です。そして、アンケート結果の学生へのフィードバック方法も大学によって異なります。この分科会では、学修の成果は言うまでもなく授業で残されるものであることを踏まえて、授業評価アンケートに焦点をあてて、学生の意見、声を交えながら学生の学びを充実させることに繋がる授業評価アンケートのあり方を学生、教員、職員一体となって検討します。

【2日目（2月22日）】全体会

- ① 各分科会からの内容報告
- ② 質疑応答，本フォーラムの総括
- ③ 閉会あいさつ

※お問い合わせ先

横浜国立大学

学務・国際部教務課大学教育再生加速プログラム支援室

Tel：045-339-3106 E-mail：ynu-ap@ynu.ac.jp

参加申し込み方法

本フォーラムホームページ(<http://www.yap.ynu.ac.jp>)内の[参加申し込みフォーム](#)より、2月15日までにお申し込み下さい。
(定員に達した場合は申し込みを締め切らせていただきます。) 予めご了承ください。

参加費について

フォーラム参加費：無料

情報交換会（1日目）参加費：学生・大学院生 無料，教員・職員・一般の方 2,000円

※情報交換会参加費は、1日目の受付時に受付にてお支払いください。支払いの際はおつりのないようご協力をお願いします。

なお情報交換会について、参加申し込み後の変更は参加受付期間終了後は致しかねますので予めご了承ください。